

教育実習生に聞く 大学生で必要な非認知能力

6月に3週間、前南に教育実習生が来ました。高校までと違って大学では、自分で動く必要があるとよく言われます。そこで、今回は教育実習生に、大学生になって「自分で考え、判断し、行動する」場面について話を聞きました。(編集 教頭)

- ①大学・ゼミで研究している内容・卒論のテーマなど
- ②大学に入って、一番主体的に頑張っていることと主体性が求められると感じた場面
- ③大学で「自分で判断し行動する」などの非認知能力が必要と感じた場面、壁にぶちあたった時や挫折した時どのように乗り越えたか、大学で身についた非認知能力などを具体的に教えてください
- ④高校時代をふりかえって、普段の勉強や受験勉強、進路選択について「こうしておけばよかったな」「こういう考え方をすればよかったな」ということや逆に「こういうことをしておいてよかった」「こういう考え方で過ごしてうまくいった」などのアドバイスをお願いします

★A 先生

①スポーツ生理学 運動と認知機能について

②活動という集団に所属する中で、自分の考えや意見を積極的に発表したり、他人の意見を聞いて話し合いをし、よりよいチームを作っていくこと。

③私が所属する大学の部活動では高校のように指導してくれる先生がいないため、学生主体で運営されています。高校生までは先生方が行なってくれていた、大会への登録や宿の手配、移動方法、日々の部活動場所の確保、練習のメニュー、練習日程なども全て自分たちで考えて行います。その際、部長と言われる人が1人で仕事を抱えてしまい、仕事の分散が必要になりました。まず、それぞれの役職の確立と学年全体でコミュニケーションを取るようにしました。このような話し合いの場や課題を解決する案を出さなければならぬとき、自分の意見や思っている考えを相手に伝える、それをまとめて自分たちで実行するという過程で非認知能力が必要であると感じました。

④保健体育を専攻してるというのもあるのですが、私たちが健康的に生きていく上でいちばん必要なのを学べるのが保健です。高校生のときはただ受けているだけでしたが、今となってはしっ

かり探究心を持って学ぶべき授業であると感じました。あとこれからの時代英語はとっても大切です！資格受験に積極的にチャレンジしてください！資格はいつか絶対に味方になります！

★B 先生

①ゼミでは写本や書簡を読んでいます。卒論は和歌の解釈と表具の関係についての研究を行っています。



②現在、一番主体的に頑張っていることはゼミでの活動です。学生だけで行う自主ゼミがあり、そこで行うことは学生が決めるので、その時間が有意義なものになるよう、毎回どのようなことをするかを話し合っていて決めています。

③大学に入って主体性が求められると感じた場面としては、学部の学生委員として体育祭の運営を行ったことです。

壁にぶち当たった時は何が自分に足りていないのか、まず何をすべきかを一つずつ考え、言語



化することを大切にしました。また、自分自身だけで解決しようとしてしまうと考えがまとまらず、どうしてもいいか余計に悩んでしまうことが多かったので、周りの友人や大学の先生に話を聞いてもらい、自分が今どうしたいかを一つずつ整理して、壁を乗り越えていきました。

また、大学に入って今しかできないことに積極的に挑戦する力が身についたように思います。自分には向いていない、自分が苦手だと思うことにも積極的に挑戦することで、その過程で自分自身が成長することができ、少しずつ自分に自信を持つことが出来るようになってきたように思います。

さらに、視野を広くすることもよりできるようになったと思います。ゼミでの活動で、文学館や美術館、博物館に訪れる機会が以前よりも増え、それらの場所を実際に訪れることで、大学での学びを深め広げることができているので、視野を広げ、様々な経験をすることは大切だと感じています。

④高校時代を振り返って、英語の勉強をもっと行って苦手意識をなくしておけばよかったと思いました。大学に入ってから、英語の授業でプレゼンをしたり、エッセイを書いたりということが多く、英語が苦手な私にとってはすごく苦労した授業だったので、高校時代に英語の学習をもっと頑張っておけばよかったなとすごく後悔しました。また、英語の論文を読むのにすごく苦労している友人もいるので、英語は高校3年間で、コツコツ勉強するのが大切だと思います。英語だけに限らず、他の教科も日々の積み重ねが今後の自分の糧になると思います。

自分の視野を狭めないことも大切だと思います。選択科目を選ぶときも自分がどのようなことに興味があって、どういった大学に行ってみたいのか、将来どのような仕事に就きたいのかを考えてながら選ぶのがいいと思います。視野を広げて、いろいろなことに興味を持って、勉強しておくくと大学生になったあと、色々繋がりが感じられて面白いです。

